



長期自然乾燥させた東濃檜1尺角の大黒柱や太い梁などが頑強な躯体を物語るLDK。無垢材のフローリングや土佐和紙の壁といった自然素材も居心地のよさを演出する



① キッチンからリビングダイニングや奥の和室まで一直線のレイアウト。和室を仕切る3枚引き戸を開放しておくことで一体感のある大空間になる ② LDKは太い梁など天井の構造をそのまま見せた吹き抜けに。下から見上げるとロフトまで視界が広がり、開放感が際立つ。窓を開ければ心地よい風が吹き抜ける

大喜工務店

1尺の大黒柱が貫く眺望自慢の平屋

滋賀・大津市 堀家さんの家

家族構成/夫65歳 妻55歳



第2の人生にふさわしい安住の家を求めて

堀家さん夫妻は定年退職をきっかけに、自然豊かな環境を求めて土地探しを始めた。その中で山と湖を間近に望むロケーションが気に入って候補地を訪れたところ、すぐ向かいの立派な木造建築が目をつけた。夫は振り返る。「声をかけの中を見せていただき、さすががしい木の香りと温もり、がっちりした骨組みにひと目惚れ。大喜工務店さんが建てたと知り、翌日、藤田喜代次社長に会い話を聞くうち、家づくりへの情熱が伝わってきたんです。特に私

たちは阪神淡路大震災を経験し、徹底した安全性・耐久性へのこだわりで共感するものがありました。夫妻の希望に応じて生まれた新居は、シンプルな平屋。LDKと隣接する和室も一室空間として使えるほか、大きな吹き抜けが設けられ、窓外に広がる琵琶湖の眺めと相まって開放感が際立つ。個室を含めて引き戸を多用することで家全体の一体感も得られ、遊びに来た孫たちも喜んで走り回るそう。「天井が高くて、外出先から帰ってくると本当になごみます」と笑う妻に対し、「中心に鎮座する1尺角の大黒柱はまさに安心・安全の象徴」と夫も満足げに話す。



③ 室内同様にシンプルにまとめた外観は黒を基調とし、平屋の大きな屋根が印象的。「なるべく金属は使いたくなくて」（夫）と、窓のルーバーは木製に。芝生を敷き詰めた庭の一角では菜園も楽しむ ④ 琵琶湖を望む南側はゆったりと庇をのびし、LDKと和室に面するデッキを併設した ⑤ 玄関ホールも十分な広さを確保。階段下スペースを利用した収納とともにアクセントとしてニッチも設けている

[大喜工務店]

上質の檜材を産地から直接仕入れ、自社倉庫で長期自然乾燥させて使用。3階建て基準のベタ基礎や2階でもグランドピアノが置ける仕様を標準とし、すべての家が基準の1.5倍以上の耐震性能を誇る。さらに柱・梁・床・天井などを無垢材で構成し、壁にオリジナルの珪藻土などを用いた「無添加骨太住宅」を推進。大手建築会社に勤める幹部から家づくりを依頼されるほど信頼は厚い。

DATA

社名/大喜工務店
 代表/藤田喜代次
 住所/〒527-0087
 滋賀県東近江市平田町764
 ☎0748-22-0028
 年間建築棟数/新築22棟
 社員数/7名
 建築地域/滋賀県
 会社設立/1952年1月
 定休日/無休
 アフターメンテナンスの対応
 ・随時



6寸角、8寸角、1尺角の檜材は、産地の東濃地方から直接仕入れて自社で長期自然乾燥。「強度に優れた良材のみを厳選して使います」と社長の藤田喜代次さん

COMMENT

過剰だと思われるほどこだわった質の高い住まいを、経営努力で価格を抑えて提供することが私たちの使命です。設計にもじっくりと時間を費やし、100%納得いただけるまでお付き合いします。



藤田英喜
 大喜工務店で100軒以上の住宅設計経験を持つ一級建築士。見た目のデザインだけではなく、生活スタイルを聞くことから始め、幅広い提案を行う。同じく一級建築士である社長とともに家づくりの全工程に携わる。

DATA

敷地面積/262.00㎡(79.40坪)
 延床面積/99.37㎡(30.11坪)
 用途地域/無指定
 建ぺい率/70%
 容積率/160%
 構造/木造軸組工法
 本体工事費/2200万円
 竣工/2015年3月

INSTRUMENTS

キッチン/クリナップ
 サッシ/YKK AP
 LDの照明器具/オーデリック



⑥ 小学生のときに父親に買ってもらったという机を置いた夫の寝室 ⑦ 夫の寝室が開放感あふれる勾配天井なのに対し、妻の寝室はフラットな天井で引き戸を閉めると完全な個室になる ⑧ 夫妻の寝室の間には共用のウォークインクローゼットを設置した

[MY FAVORITE]
 手づくりネームプレート

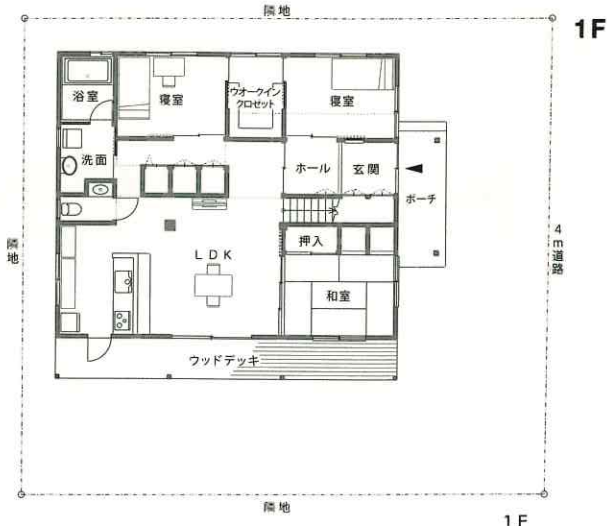
「玄関脇の外壁には、照明を組み合わせたネームプレートをあしらいました。板は大喜工務店さんの自然乾燥倉庫で眠っていたものを見つけ、名前の部分を少しだけ彫り、マニキュアを塗って立体感をつけています。なんとなくお店みたいでしょ(笑)」(妻)



LDKの奥に配置した和室は、普段はLDKの延長として使い、来客時は宿泊スペースとして活用。夫の希望で小さな床の間と仏間を設けている



⑨ 木製カウンターにスタイリッシュなボウルを載せたシンプルなオリジナル洗面台。木枠の鏡と小物を入れる棚も自作した ⑩ トイレも木の温もりに包まれて居心地がいい。併設した手洗いカウンターは、信楽焼のボウルがやわらかな和のムードを添える



[CHECK POINT]
 自然乾燥させた良材を使う
 1尺角+8寸角の大黒柱

平屋でありながら2本の大黒柱を用い、1本は1尺角、もう1本も8寸角と十分すぎるほどの仕様。「これだけの木を使った家は通常ありません。大喜工務店さんの木に対する熱い思いが感じられますね」(夫)。いずれも長い年月をかけて自然乾燥させた良質の東濃産檜が使われ、強度に優れた安心・安全な健康住宅を実現している。

癒しの雰囲気にも包まれ、
 家へ帰るとホッとします

① 妻が選んだシステムキッチンと組み合わせて、前面に杉の一枚板のカウンターを造作。視界を閉ざすことなく調理中の油ハネなどを防ぐため、カウンターとレンジフードに一体化したガラス製オイルガードを設置 ② キッチン内に立つリビングから和室まで見渡せる



③ 芝生の庭に面するウッドデッキは琵琶湖を眺める特等席。「風呂上がりに夕涼みをしたり、夜はお月さんを觀賞したり。孫たちが遊びに来たときはバーベキューをすることも」(夫) ④ LDKを見下ろすロフト。孫たちの遊び場になるほか、雨の日は洗濯物の室内干しスペースに ⑤ リビングに置いたローテーブルはこたつを兼ねたもの。「開放的な空間ですが断熱性に優れ、冬もこのこたつと蓄熱暖房でのげそう」(夫)

